

2025年3月期 第1四半期(FY2024 1Q) 決算概要

2024年7月29日

千代田化工建設株式会社

(証券コード:6366)

AGENDA:

1. 決算発表のポイント
2. ゴールデンパスLNGの状況
3. 損益計算書
4. バランスシート
5. 受注高・受注残高
6. 2025年3月期予想
7. 主なトピックス
 - 【付表1】完成工事高・受注残高内訳
 - 【付表2】業績推移

エンジニアリング
社会の“かなえたい”を共創する

Enriching Society through Engineering Value

Our SDGs Materiality



1. 決算発表のポイント

決算のポイント

- 前年同期比、営業増益。遂行中案件(米国・ゴールデンパスLNGを除く)の進捗に加えて、完工案件でのリスク解消による採算の改善もあり、完成工事総利益は堅調に推移。
- 脱炭素技術の社会実装に向けた戦略的パートナーリング、大型蓄電池設備の受注、オープンイノベーションの一環としてのスタートアップ投資など、事業ポートフォリオ革新に向けた取り組みが加速。

ゴールデンパス LNGの状況

- 顧客、CIC社、Zachry社、CB&I社の4社がZachry社のプロジェクトからの離脱に関して基本合意。裁判所が合意書を暫定承認。
CIC社とCB&I社により建設工事を再開する見通し。
- 8月中に予定されている裁判所の同合意書の最終承認後に、Zachry社がプロジェクトから正式に離脱予定。
- CIC社とCB&I社の新体制下での遂行プランについて、顧客、CB&I社と継続して協議中。早期のEPC契約の改定・合意を目指す。

業績見通し

- 2025年3月期予想は、Zachry社のゴールデンパスLNGプロジェクトからの離脱後、新JV体制下での遂行プランに合意した場合の影響を含まない前提で合理的に算出。
- 今後、斯かる影響を反映した同プロジェクトの損益算定が可能となった段階で、業績予想の開示基準に基づき、その修正を実施し、速やかに公表する方針。

2. ゴールデンパスLNGの状況

- 6月26日 ● ✓ 2024年3月期決算発表
(Zachry社のChapter 11(現地時間5月21日)に関する裁判所の審理が継続する中、存在する合意文書を踏まえた契約金額および十分な費用を考慮して、決算を確定)
- 7月25日 (現地時間) ● ✓ 顧客、CIC社、Zachry社、CB&I社の4社がZachry社のプロジェクトからの離脱に関して基本合意。裁判所が合意書の締結を暫定承認。
CIC社とCB&I社により建設工事を再開する見通し
- 7月29日 (本日) ● ✓ 2025年3月期第1四半期決算発表
- 8月中 ● ✓ 裁判所が同合意書の締結を最終承認、Zachry社が正式にプロジェクトから離脱予定
- 第2四半期
~
第3四半期 ● ✓ CIC社、CB&I社の新JV体制下での短期的な遂行プランおよび完工までの長期的な遂行プランに顧客と合意の上、採算の見直しを実施し、自己資本の回復を目指す

3. 損益計算書

(単位: 億円)

| | FY2023 1Q | FY2024 1Q | 増減 |
|-------------------|--------------|--------------|--------|
| 完成工事高 | 1,294 | 1,170 | △124 |
| 完成工事総利益 | 84 | 108 | 24 |
| 完成工事総利益率 | 6.5% | 9.2% | +2.7pt |
| 販売費・一般管理費 | △33 | △44 | △11 |
| 営業利益 | 51 | 64 | 13 |
| 経常利益 | 65 | 55 | △10 |
| 純利益 ^{*1} | 49 | 40 | △9 |
| 為替レート (円/米ドル) | 145 | 161 | |

1 分野別 内訳

✓ 完成工事総利益

| 分野 | FY2023 1Q | FY2024 1Q |
|-------|-----------|-----------|
| エネルギー | 32 | 61 |
| 地球環境 | 52 | 48 |
| 合計 | 84 | 108 |

*1 親会社株主に帰属する当期純利益

4. バランスシート

(単位:億円)

| | FY2023 4Q | FY2024 1Q | 増減 | | FY2023 4Q | FY2024 1Q | 増減 |
|----------|--------------|--------------|------|-------------------|--------------|--------------|-------|
| 流動資産 | 4,044 | 3,926 | △117 | 流動負債 | 4,122 | 3,953 | △168 |
| 現金・預金等 | 1,021 | 1,080 | 59 | 1年内返済予定の 長期借入金 | 200 | (注) 200 | - |
| 短期貸付金 | 662 | 700 | 38 | 営業負債*3 | 3,225 | 3,071 | △154 |
| 営業資産*1 | 465 | 340 | △124 | 工事損失引当金 | 365 | 352 | △13 |
| JV持分資産*2 | 1,470 | 1,354 | △117 | 固定負債 | 87 | 96 | 8 |
| 固定資産 | 226 | 223 | △3 | 純資産 | 61 | 101 | 40 |
| 総資産 | 4,270 | 4,149 | △120 | 負債・純資産 | 4,270 | 4,149 | △120 |
| | | | | 自己資本 | 49 | 86 | 38 |
| | | | | 自己資本比率 | 1.1% | 2.1% | 0.9pt |

(注)

2027年7月末を期限として、借り換えを実施

(2024年7月24日「株式会社三菱UFJ銀行との融資契約に関するお知らせ」)

*1 営業資産＝受取手形・完成工事未収入金及び契約資産＋未成工事支出金

*2 JV持分資産＝ジョイントベンチャーにおける当社持分に相当する現預金

*3 営業負債＝支払手形・工事未払金＋契約負債(未成工事受入金)

5. 受注高・受注残高

(単位: 億円)

| | FY2024 1Q 受注高 | FY2024 1Q 受注残高 |
|---------|---------------|----------------|
| エネルギー分野 | 57 | 7,164 |
| 地球環境分野 | 184 | 2,342 |
| 合計 | 242 | 9,506 |

【受注残高 主要案件】

| | 1,000億円 以上 | 500億円 以上 | 50億円 以上 |
|---------|--------------|--------------|--|
| エネルギー分野 | カタール・NFE LNG | 米国ゴールデンパスLNG | --- |
| 地球環境分野 | インドネシア銅製錬 | --- | CO ₂ メタネーション設備 バイオ医薬品原薬製造設備 先端素材生産設備 蓄電池設備 |

6. 2025年3月期予想

(単位: 億円)

| | FY2024 通期予想 |
|-------------------|-------------|
| 完成工事高 | 4,500 |
| 完成工事総利益 | 330 |
| 完成工事総利益率 | 7.3% |
| 販売費・一般管理費 | △160 |
| 営業利益 | 170 |
| 経常利益 | 200 |
| 純利益 ^{*1} | 150 |
| 受注高 | 2,500 |
| 為替レート (円/米ドル) | 150 |

(注)

Zachry社のゴールデンパスLNGプロジェクトからの離脱後、新JV体制下での遂行プランに合意した場合の影響を含まない前提で合理的に算出した数値です。

今後、斯かる影響を反映した同プロジェクトの損益算定が可能となった段階で、業績予想の開示基準に基づき、その修正を実施し、速やかに公表する方針です。

*1 親会社株主に帰属する当期純利益

7. 主なトピックス – 脱炭素分野

◆ 三菱重工業(株)とCO₂回収技術ライセンス供与に関する協業契約を締結

- ✓ 三菱重工業(株)との戦略的協業
- ✓ 国内案件を対象として、多数の実績を有する同社のCO₂回収技術ライセンスを当社に供与するもの
- ✓ 本協業を通じて、需要拡大が見込まれる国内CCUS*1市場への対応力強化、および幅広い産業分野の脱炭素化ニーズへの貢献を図る

[両社幹部集合写真]



(写真左)三菱重工業(株)GXセグメントセグメント長代理 長安立人
(写真右)当社 専務執行役員 小林直樹

◆ 【世界初*2】“より”サステナブルなポリエステル繊維向けサプライチェーン構築

- ✓ 当社のCCU*3技術を活用したパラキシレン及びリニューアブル・バイオ原料などの非化石資源からポリエステル繊維を製造
- ✓ 上流(原料・素材製造)から下流(アパレル)まで5ヶ国7社が協業し、サプライチェーンの低炭素化に貢献
- ✓ (株)ゴールドウインのブランド「THE NORTH FACE」でのスポーツユニフォーム等で採用



*1 Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage の略。二酸化炭素回収・有効利用・貯蔵

*2 二酸化炭素から直接合成により製造されたパラキシレンの試験品を利用している点、及び、非化石由来のポリエステルを製造する際にサプライチェーン上流の原料・素材製造企業及び下流のアパレル事業者が協業した点を「世界初」としています。(7社調べに基づく)

*3 Carbon dioxide Capture and Utilizationの略。二酸化炭素回収・有効利用

7. 主なトピックス - エネルギーマネジメント事業

◆ (株)ニジオ*1 向け 大型蓄電池設備 設置工事を受注

- ✓ 再生可能エネルギーの導入拡大に向けて、電力需給バランスの安定化や出力変動といった課題解決のため、蓄電池の活用が求められている
- ✓ 当社の世界最大級の蓄電池設備の建設実績が高く評価された

[概要]

| | |
|----------|------------|
| 所在地 | 大分県大分市角子原 |
| 蓄電池出力/容量 | 25MW/50MWh |
| 着工時期 | 2024年5月 |
| 事業開始時期 | 2026年度(予定) |

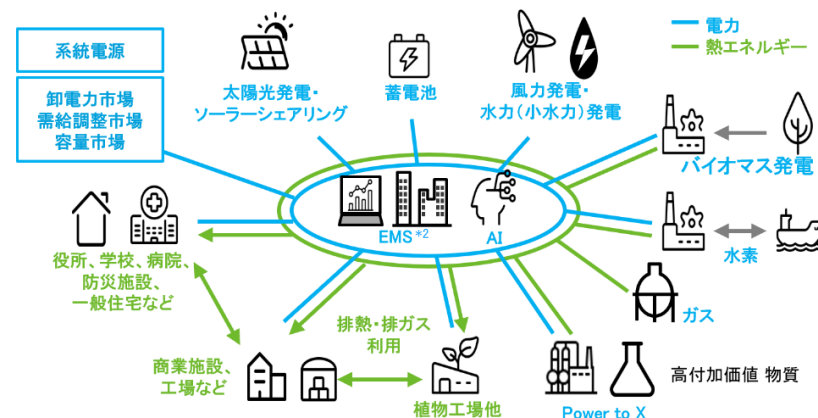
[完成イメージ] Google Mapおよび国土地理院の地図データをもとに当社作成



◆ 地域マイクログリッド構築に貢献

- ✓ 東急不動産(株)から受注した北海道松前町での「地域マイクログリッド」の構築業務が完了し、運用を開始
- ✓ 災害で大規模停電が発生した際、既存の送配電網から切り離れた上で、地域内で発電した再生可能エネルギーや蓄電池から電力を供給
- ✓ 松前町の役場、避難所、一部の一般家庭で安定して電力を利用することが可能となる

[当社が目指す地域エネルギーマネジメントのイメージ図]




*1 東京ガス株式会社の100%子会社

*2 Energy Management System の略

7. 主なトピックス - オープンイノベーション／金属分野

◆ (株)センシンロボティクスとの資本業務提携関係を構築 [オープンイノベーション]

- ✓ 産業分野でのロボティクスとAIの活用による業務効率化と高度化に向けた協業
- ✓ プラント操業の現場における人手不足の課題に対して、 両社のインフラ保全領域での技術力を組み合わせ、最新技術を用いた新たなソリューションを共創

◆ DNX Ventures 第4号米国ファンドへの出資を決定 [オープンイノベーション]

- ✓ グローバルなスタートアップ企業との事業共創やDNXの支援プログラムを通じ新規事業開発を促進
- ✓ サステナビリティやデジタル領域の最新技術を活用して社会課題の解決に取り組む



◆ インドネシア銅製錬プロジェクト [金属分野]

- ✓ 単一製造ラインとして世界最大規模となる銅製錬工場のEPC業務
- ✓ 建設工事が最終局面を迎えており、2024年中の完工を見込む
- ✓ 本件を通じて、脱炭素社会に必要な銅資源の供給拡大に貢献

[建設現場の様子]



Courtesy of P.T. Freeport Indonesia

【付表1】完成工事高・受注残高内訳

(単位:億円)

FY2024 1Q 完成工事高

【分野】

| | | |
|-------------------|-------|------|
| エネルギー | 714 | 61% |
| ■ LNG・その他ガス関係 | 673 | 58% |
| ■ 石油・石油化学 | 41 | 4% |
| 地球環境 | 456 | 39% |
| ■ 医薬・生化学・一般化学関係 | 38 | 3% |
| ■ 環境・新エネルギー・インフラ他 | 418 | 36% |
| 合計 | 1,170 | 100% |

【地域】

| | | |
|-------------|-------|------|
| 海外 | 1,024 | 88% |
| ■ 中近東・アフリカ | 582 | 50% |
| ■ 北中南米 | 56 | 5% |
| ■ アジア・オセアニア | 384 | 33% |
| ■ その他海外 | 2 | 0% |
| ■ 国内 | 146 | 12% |
| 合計 | 1,170 | 100% |

FY2024 1Q 受注残高

【分野】

| | | |
|-------------------|-------|------|
| エネルギー | 7,164 | 75% |
| ■ LNG・その他ガス関係 | 6,845 | 72% |
| ■ 石油・石油化学 | 320 | 3% |
| 地球環境 | 2,342 | 25% |
| ■ 医薬・生化学・一般化学関係 | 972 | 10% |
| ■ 環境・新エネルギー・インフラ他 | 1,369 | 14% |
| 合計 | 9,506 | 100% |

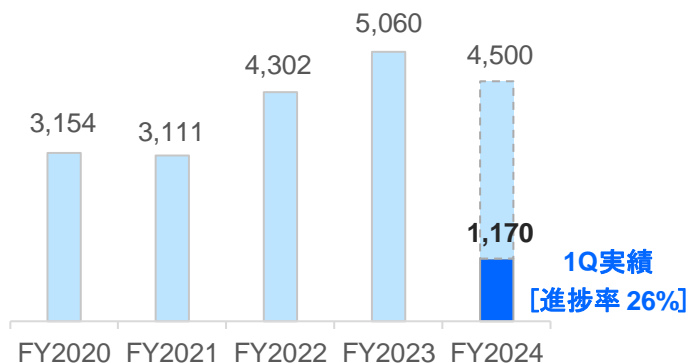
【地域】

| | | |
|-------------|-------|------|
| 海外 | 7,899 | 83% |
| ■ 中近東・アフリカ | 5,643 | 59% |
| ■ 北中南米 | 942 | 10% |
| ■ アジア・オセアニア | 1,301 | 14% |
| ■ その他海外 | 14 | 0% |
| ■ 国内 | 1,607 | 17% |
| 合計 | 9,506 | 100% |

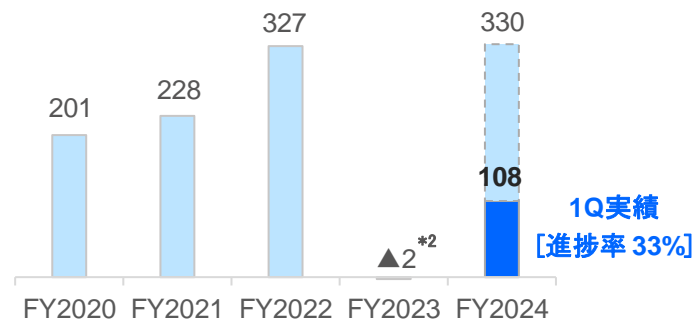
【付表2】業績推移

(単位:億円)

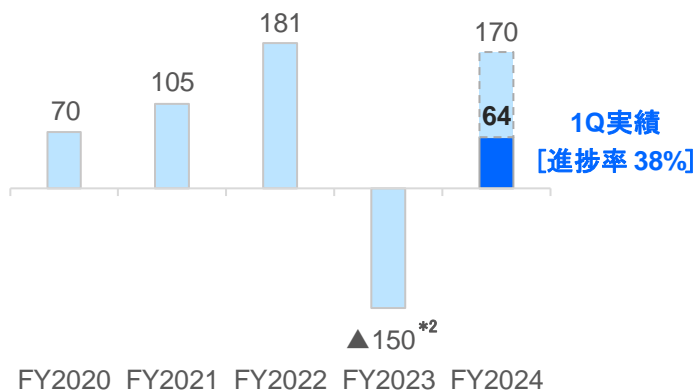
完成工事高



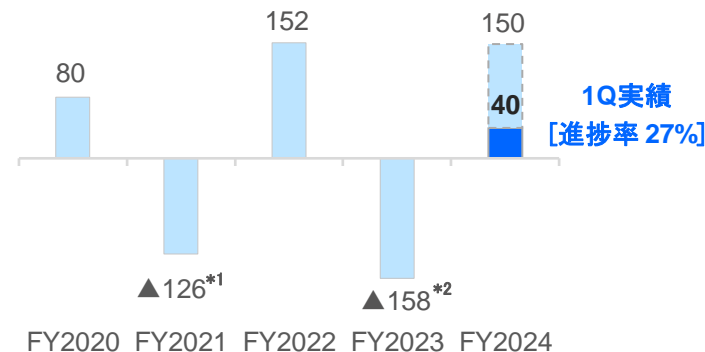
完成工事総利益



営業利益



純利益



*1 特別損失 ▲204億円含む(顧客との和解等によるプロジェクト関連損失)

*2 ゴールデンパスLNGプロジェクトに関連する追加費用▲370億円含む

この資料には、事業戦略・本資料発表時における将来に関する見通しおよび計画に基づく予測が含まれています。経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があり、予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。従いまして、この業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。

【お問い合わせ先】

千代田化工建設株式会社

総務部 IR・広報・サステナビリティ推進セクション

E-Mail : ir@chiyodacorp.com

